

各関係機関団体の長

殿

各病虫害防除員

福岡県病虫害防除所長

(福岡県農林業総合試験場病虫害部予察課)

注意報第 1 号

いもち病の発生について

県内の中山間地や平坦地の一部において、7 月下旬以降葉いもちの発生が多く、今後の天候次第では、穂いもちの発生が懸念されます。ほ場での発生状況を確認して、防除を徹底してください。

- 1 作物名 水稻
- 2 病虫害名 いもち病
- 3 発生地域 中山間地及び平坦地の一部
- 4 発生状況

(1) 8 月 2 半旬調査の結果、発病株率及び発生ほ場率は平年より多く、発生株率 50%以上の多発ほ場もみられた。

地域やほ場による差が大きく、一部の中山間地や平坦地などで増加している。

発病株率 18.22% (平年 7.29% 前年 8.49%)

発生ほ場率 66.7% (平年 29.2% 前年 47.9%)

(2) 福岡管区气象台が 8 月 7 日に発表した九州北部地方の 1 ヶ月予報によると、気温は平年並、降水量は平年並か多い、日照時間は平年並か少ないとなっている。本病発生地域では今後の天候次第で、穂いもちの発生が予想される。

5 防除上注意すべき事項

(1) ほ場により発生状況が異なるため、葉いもちの発生状況を確認する。

穂いもちは、発生後の防除が困難であるため、葉いもちの発生が多い場合は、予防的に出穂期直前と穂揃期の 2 回防除を徹底する。

(2) 曇雨天が多く、葉の湿潤状態が継続する場合は防除回数を増加する。降雨が続き、地上散布が困難な場合は早めに粒剤の施用を行う。

(3) 防除に当たっては、農薬使用基準(使用時期、使用回数等)を順守する。

(4) 今後の発生状況については、防除所ホームページ (<http://www.jppn.ne.jp/fukuoka/>)を参照する。

